

災害廃棄物処理に係る訓練の実施状況について

1 要旨・目的

近年多発する気象災害（台風、大雨等）や、地震等の大規模災害において発生する災害廃棄物の処理について、処理の主体となる市町の現場対応力の向上及び関係機関との連携強化を目的とし、重要な初動対応の1つである仮置場の設置・運営に係る模擬訓練を、福山市の協力を得て、令和4年6月7日に開催した。

2 現状・背景

令和2年度に初めて模擬訓練を実施。令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策によりオンラインでの開催となったため、実地での開催は2年ぶりとなった。

3 概要

(1) 実施主体

県が県内23市町及び廃棄物業界団体の協力を得て実施

(2) 実施期間（日時）

令和4年6月7日（火） 10時30分～15時15分

(3) 場所

福山市クリーンセンター（福山市箕沖町）



地理院地図（電子国土 Web）を加工して作成

(4) 実施内容

ア 参加者

県、市町・組合及び廃棄物業界団体（広島県資源循環協会、広島県清掃事業連合会）
職員約60名

イ 訓練内容

福山市クリーンセンターの敷地の一角を仮置場と見立て、仮置場の設置に係る処理フローに沿って、訓練を行った。

令和3年度の災害対応経験や市町等の意見を踏まえ、今年度の訓練には仮置場の必要面積・開設期間の検討や仮置場からの搬出の流れを加えた。

- ① 仮置場レイアウトの検討（廃棄物の配置、車両動線の検討等）
- ② 住民向け広報資料の作成（仮置場開設期間の検討を含む）
- ③ 仮置場の設置（看板の設置、車両動線の確保等）
- ④ 仮置場の運営（入口での受付、廃棄物の積み下ろし、仮置場からの搬出等）

ウ 参加者の感想・意見

- ・ 平時から、仮置場の選定や広報資料のひな型作成等の備えが重要だと感じた。
- ・ 仮置場レイアウトを考える上で、予想される廃棄物量から必要面積を計算する演習が勉強になった。
- ・ 災害対応経験のある他市町や業界団体の方々の意見を聞くことができ、参考になった。

(5) 今後の対応

参加者からの意見等を踏まえた見直しを行いながら、継続して市町等と連携した訓練を実施することにより、災害に備えた体制強化に努める。

4 その他

(1) 訓練の様子



①仮置場レイアウトの検討



②仮置場入口での受付



③仮置場内での廃棄物積み下ろし

(2) 仮置場のレイアウトイメージ

